

令和5年度

山形大学大学院

**理工学研究科博士前期課程
学生募集要項（工学系）**

**有機材料システム研究科
博士前期課程学生募集要項**

【4月入学】

【推薦入試<7月>】

【第1回入試<8月>（一般入試・社会人入試・外国人留学生入試）】

【第2回入試<11月>（社会人入試・外国人留学生入試）】

令和4年5月

**山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科**

※出願には、出願書類の請求が必要です。23 ページ「X 出願書類の請求について」を必ずご確認ください。

★外部テスト（TOEIC® TEST 又は TOEFL® TEST）の利用について

新型コロナウイルス感染症の拡大状況及び、TOEIC® Listening & Reading 公開テストが抽選方式での申込受付を継続していることを受けて、下記の対応を行います。

記

【対応内容】

令和5年度博士前期課程入学試験（4月入学）推薦入試、第1回入試及び第2回入試の一般入試においては、外部テスト（TOEIC® TEST 又は TOEFL® TEST）の成績を利用しません。

また、出願書類として、外部テスト（TOEIC® TEST 又は TOEFL® TEST）の成績書の提出を求めません。

★その他今後の対応等について

現在のところ、各入試区分においては、3つの密（密閉・密集・密接）を避け、受験生が安心して受験できるよう試験実施体制を整えた上で、工学部試験場にて実施する予定です。

なお、海外に在住し、新型コロナウイルス感染症の影響により試験日に来日が困難である等、工学部試験場での入学試験を受験できない方は、至急、山形大学工学部入試担当（電話（0238）26-3013）までご連絡願います。

今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、上記の内容、及び本要項の記載内容に変更が生じた場合は、本研究科ホームページ「入学案内」及び「大学院受験生の方」でお知らせしますので、随時確認してください。

【山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科 ホームページ】

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>

目 次

I	アドミッション・ポリシー	1
II	募集人員（推薦入試，一般入試，社会人入試，外国人留学生入試）	4
III	日程（推薦入試，第1回入試，第2回入試）	5
IV	推薦入試について	
	1 出願資格・推薦要件	6
	2 出願期間	6
	3 出願手続	6
	4 入学者選抜方法	9
	5 試験場	9
	6 合格者の発表	9
	7 入学手続	9
V	第1回入試，第2回入試について （「5 入学者選抜方法」を除き各入試共通事項）	
	1 出願資格	10
	2 入学資格審査について	12
	3 出願期間	12
	4 出願手続	13
	5 入学者選抜方法	
	[1]第1回入試	
	(1) 一般入試	15
	(2) 社会人入試	17
	(3) 外国人留学生入試	18
	[2]第2回入試	
	(1) 社会人入試	19
	(2) 外国人留学生入試	20
	(3) 一般入試	20
	6 試験場	21
	7 合格者の発表	21
	8 入学手続	21
VI	受験者心得	21
VII	受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談	22
VIII	授業料	22
IX	その他	22
X	出願書類の請求について	23
XI	教育方法の特例措置について	23
XII	長期履修学生制度について	23
XIII	教育訓練給付制度について	24
XIV	研究科の概要	24

★お問合せ先

山形大学工学部入試担当

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目 3-16

電話 (0238) 26-3013

I アドミッション・ポリシー

理工学研究科（工学系）

理工学研究科（工学系）は、博士前期課程（Master's Program）の化学・バイオ工学専攻、情報・エレクトロニクス専攻、機械システム工学専攻、建築・デザイン・マネジメント専攻の4専攻と博士後期課程（Doctor's Program）の物質化学工学専攻、バイオ工学専攻、電子情報工学専攻、機械システム工学専攻、ものづくり技術経営学専攻の5専攻からなります。

博士前期課程では、科学技術の高度化・国際化に対応できる幅広い視野と工学分野の精深な学識と高度な技能に加え、21世紀の社会情勢と産業構造の変革に呼応して、地域創生・次世代形成・多文化共生に資する豊かな人間力を備えた人材を輩出するという方針のもと、高度な研究環境において教育を実践します。

博士後期課程では、グローバル化の進む中、それぞれの専攻分野において基礎となる豊かな学識と高度な研究能力を養う博士（工学、学術）教育を推進して卓越した専門性と自立した研究者、教育者として世界に通用する人材を輩出しています。

理工学研究科（工学系）の求める学生像は、以下のとおりです。

◆求める学生像

- 専門分野の学修に必要な基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や課題解決に取り組む積極性と意欲
- 社会に貢献する積極性と意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

博士前期課程

（化学・バイオ工学専攻）

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

◆入学選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- （1）一般入試（学力検査等（筆記試験、面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- （2）社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- （3）外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- （4）推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- （5）学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

（情報・エレクトロニクス専攻）

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（筆記試験、面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

（機械システム工学専攻）

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（筆記試験、面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

（建築・デザイン・マネジメント専攻）

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を口頭試問及び面接試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 協調性と高い倫理観

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問、書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

有機材料システム研究科

有機材料システム研究科は、有機材料システム分野における学生の探究心に応え、能力を啓発し、自立さらには新分野を開拓できる人材を育成する理念のもと、基礎知識を展開して高度な専門課題にも問題解決能力を有する技術者・研究者・教育者の養成、さらに、人として高い倫理観を持った技術者・研究者・教育者の養成を目標としています。有機材料システム研究科では、有機材料の基礎から応用に至る知識を単に修得するのみならず、それらを核として他分野との連携により拡張される、より広範な有機材料システム分野を教育・研究の対象とします。

有機材料システム研究科の求める学生像は以下のとおりです。

博士前期課程

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を口頭試問及び面接により選抜します。

- 有機材料分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に積極的に取り組む人
- 有機材料システム分野に関する知識や技術を通して広く社会に貢献したい人
- 社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断、実行出来る人、他人への思いやりの心と高い倫理観を持つ人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（学力検査等（面接、口頭試問又は外部テストの成績書等）及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して判定）
- (4) 推薦入試（面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）
- (5) 学部3年次学生を対象とする特別入試（面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して判定）

Ⅱ 募集人員（推薦入試，一般入試，社会人入試，外国人留学生入試）

理工学研究科（工学系）

専攻名	入学定員	募 集 人 員						
		推薦入試	第1回入試			第2回入試		
			一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試
化学・バイオ工学専攻	67	33	34	若干人	若干人	※	若干人	若干人
情報・エレクトロニクス専攻	62	31	31	若干人	若干人	※	若干人	若干人
機械システム工学専攻	63	31	32	若干人	若干人	※	若干人	若干人
建築・デザイン・マネジメント専攻	12	6	6	若干人	若干人	※	若干人	若干人
合 計	204	101	103	－	－	－	－	－

有機材料システム研究科

専攻名	入学定員	募 集 人 員						
		推薦入試	第1回入試			第2回入試		
			一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試
有機材料システム専攻	98	49	49	若干人	若干人	※	若干人	若干人
合 計	98	49	49	－	－	－	－	－

※ 推薦入試と第1回入試における入学手続完了者の総数が入学定員に達しない場合は，その欠員分について，第2回入試の「一般入試」において，募集を行うことがあります。第2回入試における「一般入試」の募集の有無については，山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科のホームページ（<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>）にてお知らせするとともに，募集を行う場合は，別に募集要項を作成し公表します。

- （注） 1 推薦入試の合格者が募集人員に達しない場合，その欠員分は第1回入試における「一般入試」の募集人員に加えます。
- 2 両研究科の各専攻では，本年10月から入学できる選抜試験も実施しています。

Ⅲ 日程（推薦入試，第１回入試，第２回入試）

理工学研究科（工学系） 有機材料システム研究科

項 目 等			月 日
推 薦 入 試		出 願 期 間	令和４年７月 １日（金）～７月 ６日（水）（必着）
		試 験 日	令和４年７月 16 日（土）
		合格者発表	令和４年７月 25 日（月）11 時（予定）
第 1 回 入 試	入学資格審査書類提出期間		令和４年６月 13 日（月）～６月 17 日（金）（必着）
	入学資格審査結果の通知期日		令和４年６月 29 日（水）
	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	出 願 期 間	令和４年７月 19 日（火）～７月 27 日（水）（必着）
		試 験 日	令和４年８月 23 日（火）， ８月 24 日（水）
		合格者発表	令和４年９月 １日（木）11 時（予定）
第 2 回 入 試	入学資格審査書類提出期間		令和４年10月 12 日（水）～10月 14 日（金）（必着）
	入学資格審査結果の通知期日		令和４年10月 24 日（月）
	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	出 願 期 間	令和４年11月 １日（火）～11 月 ４日（金）（必着）
		試 験 日	令和４年11月 16 日（水）
		合格者発表	令和４年11月 30 日（水）11 時（予定）

Ⅳ 推薦入試について

理工学研究科（工学系）

有機材料システム研究科

【趣旨】

広く有能な人材を募集し、優れた研究者及び技術者を育成するため、さらに、学内外を問わず広く学生を受入れることにより学生交流を促進する目的で、両研究科博士前期課程に推薦入試制度を設けています。

1 出願資格・推薦要件

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 令和5年3月に大学を卒業見込みの者で、学部教育として志望の専攻と関連系統の専門教育を受け、かつ、学業成績が優秀であるとともに人物も良好であり、学長又は学部長が責任をもって推薦でき、合格した場合、入学することを確約できる者
- (2) 短期大学又は高等専門学校の特攻科を令和5年3月修了見込みの者で、大学改革支援・学位授与機構の修得単位に関する審査の基準を満たし、令和4年10月に大学改革支援・学位授与機構に学士の学位（学校教育法第104条第7項に規定する学位）の授与申請見込み（令和5年3月学位取得見込み）の者で、かつ、学業成績が優秀であるとともに人物も良好であり、学長又は学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合、入学することを確約できる者

2 出願期間

出 願 期 間
令和4年7月1日（金）～7月6日（水）（必着）

出願受付は、土・日曜日を除きます。

受付時間は、9時から16時30分までとします。

出願期間を過ぎた場合は受理しませんので、郵送する場合は郵送に要する日数等を十分考慮の上、送付してください（郵送の場合も上記の期限までに**必着**とします。）。

3 出願手続

志願者は、**必ず希望指導教員に事前に相談してから**、「X 出願書類の請求について」（23ページ参照）を確認の上、出願書類を一括し、所定の期日までに山形大学工学部入試担当に提出してください。

なお、郵送する場合は書留郵便とし、封筒に「大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）推薦入試入学願書在中」又は「大学院有機材料システム研究科博士前期課程推薦入試入学願書在中」と朱書きしてください。

出願書類提出先 山形大学工学部入試担当
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

出 願 書 類	作 成 上 の 注 意
入 学 願 書 写 真 票 受 験 票	○ 所定の用紙に、必要事項を記入してください。 ○ 写真票の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真（4 cm × 3 cm）をはってください。 ○ 志願専攻名欄及び希望指導教員名欄の記入に当たっては、山形大学工学部/大学院・理工学研究科/有機材料システム研究科のホームページ（ https://www.yz.yamagata-u.ac.jp ）「大学院受験生の方」の「博士前期課程担当教員表」を参照してください。
卒業見込証明書	○ 出身大学長（学部長）又は出身学校長が作成した 原本 とします。
成績証明書	○ 出身大学長（学部長）又は出身学校長が作成し、 厳封 された 原本 とします。ただし、本学出身の場合は厳封の必要はありません。
推薦書	○ 様式は任意とし、出身大学等の学長、学校長又は学部長が作成し、 厳封 されたものとします。
学士の学位授与申請証明書	○ 出願資格（2）の資格で出願する方が提出してください。「大学改革支援学位授与機構に学位授与の申請（予定）をしている」旨を明記した証明書（様式任意）で、出身大学長（学部長）又は出身学校長が作成したものとします。

出 願 書 類	作 成 上 の 注 意
収 納 証 明 書 (「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて提出すること。)	○ 検定料 30,000 円 ただし、本学出願時に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている方については、検定料を納付する必要はありませんので、国費外国人留学生奨学金の受給決定者であることを確認できる書類の写しを添付してください。 1 払込期間：令和 4 年 6 月 24 日(金)日本時間の 10：00 から 令和 4 年 7 月 6 日(水)まで（厳守） 2 払込方法 クレジットカード又はコンビニ端末により払い込んでください。詳細は本要項 7 ページ「入学検定料の支払い方法について」及び本要項の末尾に添付の「入学検定料支払方法」を参照してください。 また、いずれの方法でも支払手数料が別途必要です。この手数料は志願者負担となります。 3 支払い完了後、「収納証明書」（ファミリーマートで支払った場合は、レシート）を切り取り、「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて、他の出願書類とともに提出してください。 4 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 （1）検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類等を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。） （2）誤って検定料を二重に払い込んだ場合 （3）出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合 5 返還手続 検定料の返還を希望する場合は、下記 URL から「検定料返還申出書」をダウンロードし、必要事項を記入及び必要書類を添付の上、令和 5 年 3 月 31 日（金）までに、山形大学工学部入試担当まで送付してください。 https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/faq/return/ ※返還請求に関するお問合せ先：山形大学工学部入試担当（電話(0238)26-3013）
返 信 用 封 筒	○ 市販の封筒（長形 3 号・23.5 cm×12 cm）に志願者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、84 円分の切手をはって提出してください。
ラ ベ ル 票	○ 所定の用紙に、志願者が確実に合格通知等を受け取ることができる住所等を記入してください。
そ の 他 (外国人の方のみ)	○ 「在留カードの写し（両面を写したもの）」又は、住民登録をしている方は、「届け出を行った自治体で発行された住民票」を提出してください。 住民登録をしていない方は、「パスポートの写し」、「本国の戸籍抄本」又は「市民権等の証明書」のうちいずれか 1 つを提出してください。

入学検定料の支払い方法について

日本国内から出願する場合は、クレジットカード又はコンビニ端末から支払ってください。日本国外から出願する場合は、クレジットカードで支払ってください。

いずれの方法で支払う場合でも、支払手数料が別途必要です。この手数料は志願者負担となります。

検定料の支払後、「収納証明書」（ファミリーマートで支払った場合は、レシート）を「収納証明書はり付け台紙」にはり付けて、出願期間内に本学に届くように提出（郵送（書留）又は持参）する必要があります。

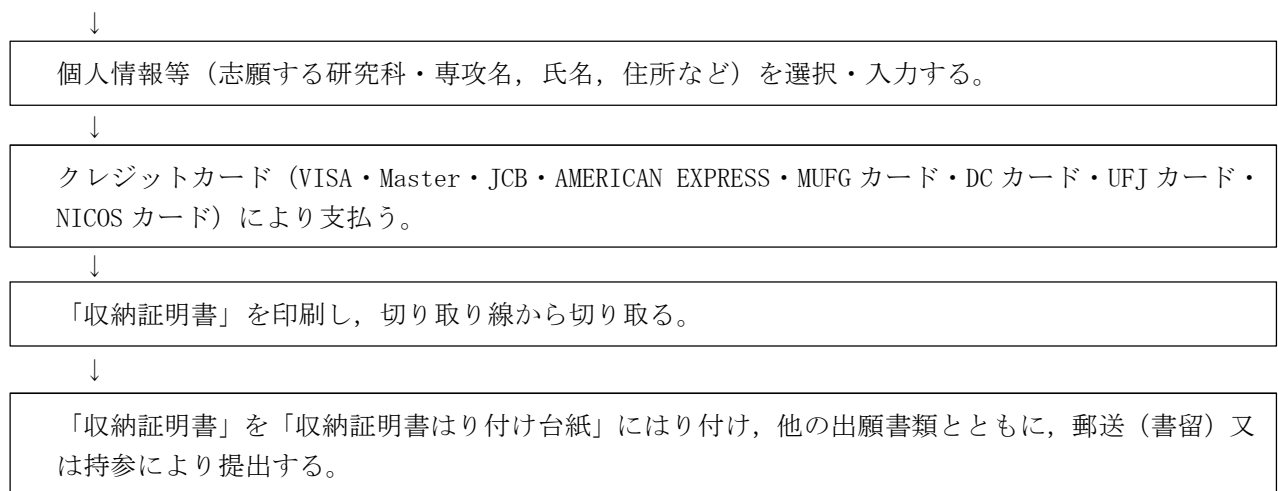
【クレジットカードで支払う場合】

インターネット決済 e-apply「学び・教育」出願・申込サービス
(<https://e-apply.jp/n/yamagata-gs-c>)にアクセスする。

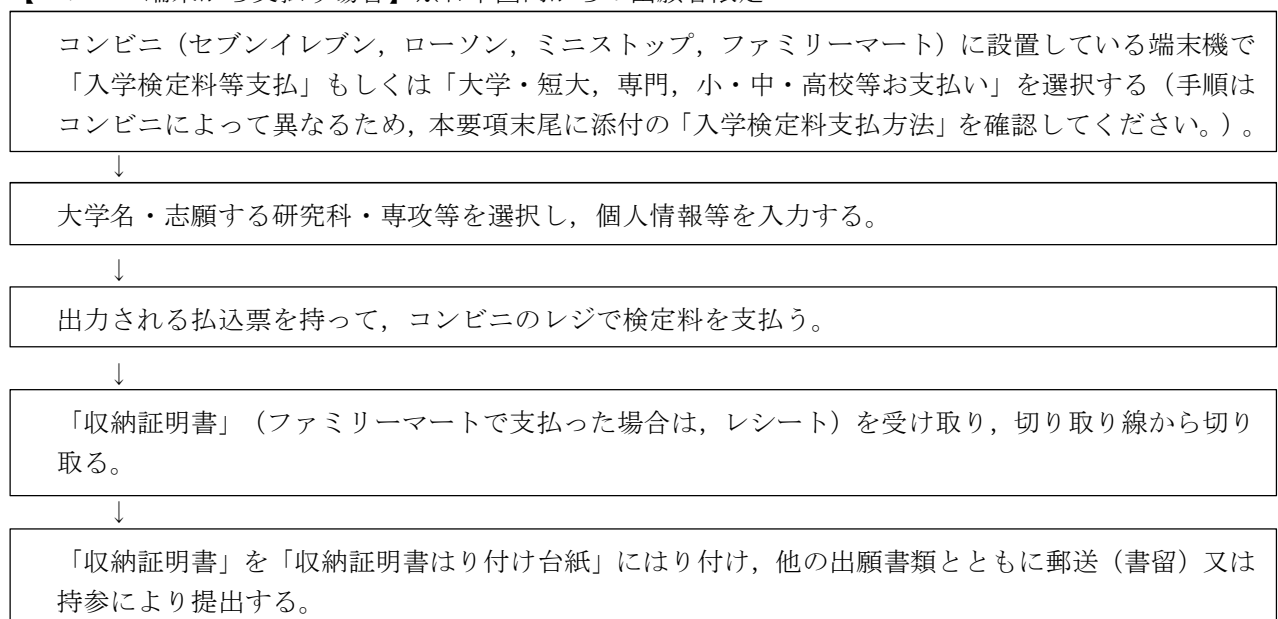


「はじめに」を選択し内容を確認する。
その後、「申し込む」ボタンを選択する。





【コンビニ端末から支払う場合】※日本国内からの出願者限定



【検定料支払いに関するお問合せ先】

運用会社 株式会社ディスコ

「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター

TEL 0120-202079（24時間受付。日本国内のみ可能）

Eメール csv-web@disc.co.jp

4 入学者選抜方法

(1) 入学者の選抜は、全専攻とも面接及び口頭試問、出身大学等の成績証明書、推薦書等を総合して行います。

(2) 面接及び口頭試問の日時等

【全専攻共通】

試験日	試験時間	試験科目等
令和4年7月16日(土)	9:00～ (1人20分程度)	面接及び口頭試問

- ① 試験には、指定外の物を持ち込むことはできません(21ページ「VI 受験者心得」参照。)
② 面接及び口頭試問は、志望の動機、卒業研究の内容、大学院に入学後の研究計画等について行います。パソコン・資料等を使用して説明することはできません。
なお、黒板等の使用は、受験者の申し出や面接担当者の指示により、試験中に許可をすることがあります。ただし、機械システム工学専攻は黒板等を使用することはできません。

5 試験場

山形大学工学部試験場 米沢市城南四丁目3-16

6 合格者の発表

令和4年7月25日(月)11時(予定)

山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ(<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>)に合格者の受験番号を掲載します(発表直後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいて再度アクセスしてください。)
なお、合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

7 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

令和4年8月4日(木)から8月17日(水)まで
(土・日曜日、祝日及び8月12日～8月16日を除きます。)
受付時間は、9時から16時30分までとします。

(2) 入学料

入学手続の際に、入学料を納付していただきます。
入学料 282,000円

(3) 提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(4) 留意事項

入学手続完了者が、令和5年3月31日(金)までに特別の事情により入学を辞退し、許可された場合であっても、入学料は返還しません。

V 第1回入試, 第2回入試について

(「5 入学者選抜方法」を除き各入試共通事項)

1 出願資格

(1) 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者又は令和5年3月までに該当する見込みの者としてします。

- ① 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条第1項に定める大学(以下「大学」という。)を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- ⑨ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑩ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑪ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑫ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

(2) 社会人入試

本入試は、各種の研究機関、教育機関又は企業等で活躍している社会人の研修の継続あるいは自己再教育の場として両研究科博士前期課程を開放し、併せて、生涯教育に寄与することを目的としています。

各種研究機関、教育機関又は企業等に令和5年4月1日時点で1年以上勤務経験のある技術者又は研究者で次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- ① 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条第1項に定める大学(以下「大学」という。)を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当

該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑨ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑩ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑪ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑫ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

（3）外国人留学生入試

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者又は令和5年3月までに該当する見込みの者とします。

ただし、日本の国籍を有しない者でも、日本の大学を卒業した者（令和5年3月卒業見込みの者を含む。）は、外国人留学生入試の対象とはなりません。

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ④ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑥ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

（注）講義は、主として日本語で行われます。

2 入学資格審査について

出願資格（１）一般入試の⑨，⑩，⑪，⑫，（２）社会人入試の⑨，⑩，⑪，⑫及び（３）外国人留学生入試の⑤，⑥，⑦のいずれかにより志願しようとする者は，事前に書類による個別の入学資格審査を行います。下記の【入学資格審査書類】を一括し，所定の期日までに，山形大学工学部入試担当に提出してください。

ただし，学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条第 1 項に定める大学を令和 5 年 3 月卒業見込みの者は，入学資格審査は必要ありません。

【入学資格審査書類】

- ・ 入学資格審査願（本要項に添付の用紙）
- ・ 最終卒業学校分の卒業証明書（原本）
- ・ 最終卒業学校分の成績証明書（学校長が作成し，厳封したもの）
- ・ 入学試験出願資格認定審査調書（本要項に添付の用紙）
- ・ 返信用封筒（市販の封筒（長形 3 号・23.5cm×12cm）に志願者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し，84 円分の切手をはったもの）
- ・ 論文別刷等（研究業績等がある者のみ）

なお，外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合には，和訳又は英訳を添付してください。

入学資格審査書類提出先 山形大学工学部入試担当
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目 3-16

「入学資格審査願」及び「入学試験出願資格認定審査調書」は，山形大学工学部/大学院・理工学研究科/有機材料システム研究科のホームページ（<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>）「大学院受験生の方」内の「各種募集要項」からダウンロードし，A4 判白紙に片面で印刷の上，記入及び提出してください。

【注意事項】出願資格（１）一般入試の⑨，⑩，⑪，⑫，（２）社会人入試の⑨，⑩，⑪，⑫及び（３）外国人留学生入試の⑤，⑥，⑦について

高等専門学校，短期大学，専修学校，各種学校，外国大学日本分校（出願資格（１）の⑤，（２）の⑤，（３）の③を除く。），外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない者が入学を志願しようとする場合，本研究科において事前に個別の入学資格審査を行い，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者については，本研究科に出願することができます。

なお，同資格審査は，過去に本研究科が交付した「入学試験に係る入学資格の認定通知書」をもって代えることができます。

入学資格審査により出願する場合は，当該通知書の写しを出願書類に添付してください。

項 目	入学資格審査書類提出期間	審査結果の通知期日
第 1 回入試	令和 4 年 6 月 13 日（月）～6 月 17 日（金）（必着）	令和 4 年 6 月 29 日（水）
第 2 回入試	令和 4 年 10 月 12 日（水）～10 月 14 日（金）（必着）	令和 4 年 10 月 24 日（月）

受付時間は 9 時から 16 時 30 分までとします。

3 出願期間

項 目	出 願 期 間
第 1 回入試	令和 4 年 7 月 19 日（火）～7 月 27 日（水）（必着）
第 2 回入試	令和 4 年 11 月 1 日（火）～11 月 4 日（金）（必着）

出願受付は，土・日曜日，祝日を除きます。

受付時間は 9 時から 16 時 30 分までとします。

出願期間を過ぎた場合は受理しませんので，郵送する場合は郵送に要する日数等を十分考慮の上，送付してください（郵送の場合も上記の期限までに**必着**とします。）。

4 出願手続

入学志願者は、必ず希望指導教員に事前に相談してから、「X 出願書類の請求について」（23 ページ参照）を確認の上、出願書類を一括し、所定の期日までに山形大学工学部入試担当に提出してください。

郵送する場合は書留郵便とし、封筒に「大学院理工学研究科博士前期課程（工学系・4月入学）入学願書在中」又は「大学院有機材料システム研究科博士前期課程（4月入学）入学願書在中」と朱書きしてください。

出願書類提出先 山形大学工学部入試担当
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

出 願 書 類	作 成 上 の 注 意
入 学 願 書 写 真 票 受 験 票	○ 所定の用紙に、必要事項を記入してください。 ○ 外国人の方は、氏名を漢字若しくはローマ字とし、姓 (Last (Family) name)、名 (First (Given) name)、ミドルネーム等の順で記入してください。 ○ 「保護者の住所・氏名」は、社会人入試志願者は記入不要です。外国人の方で保護者が母国(国外)在住の場合は、母国の住所を記入してください。 ○ 「履歴」は、大学入学時から記入してください。ただし、外国人留学生入試志願者は、小学校入学時から記入してください。 ○ 写真票の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真（4 cm × 3 cm）をはってください。 ○ 希望指導教員名欄の記入に当たっては、山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科のホームページ(https://www.yz.yamagata-u.ac.jp)「大学院受験生の方」の「博士前期課程担当教員表」を参照してください。
卒業証明書又は 卒業見込証明書	○ 出身大学長（学部長）又は出身学校長が作成した原本とします。 ○ 外国の大学又は学校の出身者で、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けてください。 ○ 外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合は、和訳又は英訳を添付してください。
成 績 証 明 書	○ 出身大学長（学部長）又は出身学校長が作成し、厳封された原本とします。ただし、本学出身の場合は厳封の必要はありません。 ○ 外国の大学又は学校の出身者で、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けてください。 ○ 外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合は、和訳又は英訳を添付してください。
学士の学位授与 （申請）証明書	○ 出願資格（1）の②、（2）の②資格で出願する方及び外国の大学又は学校の出身者で学士の学位（学士の学位に相当する学位を含む。）を有する方が提出してください。 ○ 出身大学長（学部長）又は出身学校長が作成した原本とします。 ○ 出願資格（1）の②、（2）の②の資格で出願する方が提出する証明書については、大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与証明書又は「大学改革支援・学位授与機構に学位授与の申請（予定）をしている」旨を明記した証明書（様式任意）で、出身大学長（学部長）又は出身学校長が作成したものとしします。 ○ 外国の大学又は学校の出身者で、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けてください。 ○ 外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語又は英語以外の場合は、和訳又は英訳を添付してください。
研 究（希望） 計 画 書	○ 社会人入試に出願する方が提出してください。 所定の用紙に、博士前期課程で学習したい研究課題（又は研究分野）及び研究計画の概要を1,000字以内にまとめて記入してください。
職 務 経 歴 書	○ 社会人入試に出願する方が提出してください。 所定の用紙に、研究・業務歴及び研究業績を記入してください。研究論文、技術報告、特許・実用新案等がある場合は、その業績を表す文書等の写しを添付してください。

出 願 書 類	作 成 上 の 注 意						
収 納 証 明 書 (「収納証明書はり 付け台紙」にはり付 けて提出すること。)	○ 検定料 30,000 円 ただし、本学出願時に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている方については、検定料を納付する必要はありませんので、国費外国人留学生奨学金の受給決定者であることを確認できる書類の写しを添付してください。 1 払込期間 <table border="1"> <tr> <th>項 目</th><th>払 込 期 間</th></tr> <tr> <td>第 1 回入試</td><td>令和 4 年 7 月 12 日 (火) ～ 7 月 27 日 (水)</td></tr> <tr> <td>第 2 回入試</td><td>令和 4 年 10 月 25 日 (火) ～ 11 月 4 日 (金)</td></tr> </table> 2 払込方法 クレジットカード又はコンビニ端末により払い込んでください。詳細は本要項 7 ページ「入学検定料の支払い方法について」及び本要項の末尾に添付の「入学検定料支払方法」を参照してください。 また、いずれの方法でも支払手数料が別途必要です。この手数料は志願者負担となります。 3 支払い完了後、「収納証明書」(ファミリーマートで支払った場合は、レシート)を切り取り、「<u>収納証明書はり付け台紙</u>」にはり付けて、他の出願書類とともに提出してください。 4 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (1) 検定料を払い込んだが出願しなかった場合 (出願書類等を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。) (2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合 (3) 出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合 5 返還手続 検定料の返還を希望する場合は、下記 URL から「検定料返還申出書」をダウンロードし、必要事項を記入及び必要書類を添付の上、令和 5 年 3 月 31 日 (金) までに、山形大学工学部入試担当まで送付してください。 https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/faq/return/ ※返還請求についてのお問合せ先：山形大学工学部入試担当(電話(0238)26-3013)	項 目	払 込 期 間	第 1 回入試	令和 4 年 7 月 12 日 (火) ～ 7 月 27 日 (水)	第 2 回入試	令和 4 年 10 月 25 日 (火) ～ 11 月 4 日 (金)
項 目	払 込 期 間						
第 1 回入試	令和 4 年 7 月 12 日 (火) ～ 7 月 27 日 (水)						
第 2 回入試	令和 4 年 10 月 25 日 (火) ～ 11 月 4 日 (金)						
返 信 用 封 筒	○ 市販の封筒(長形 3 号・23.5 cm×12 cm)に志願者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、84 円分の切手をはって提出してください。						
ラ ベ ル 票	○ 所定の用紙に、志願者が確実に合格通知等を受け取ることができる住所等を記入してください。						
そ の 他 (外国人の方のみ)	○ 「在留カードの写し(両面を写したもの)」又は、住民登録をしている方は、「届け出を行った自治体で発行された住民票」を提出してください。 住民登録をしていない方は、「パスポートの写し」、「本国の戸籍抄本」又は「市民権等の証明書」のうちいずれか 1 つを提出してください。						

(注) 出願資格(1)の⑨、⑩、⑪、⑫、(2)の⑨、⑩、⑪、⑫及び(3)の⑤、⑥、⑦のいずれかにより入学資格審査を受けた場合、卒業証明書及び成績証明書の提出は必要ありません。代わりに、本研究科の交付する「入学試験に係る入学資格の認定通知書」の写しを提出してください。

5 入学者選抜方法

〔1〕第1回入試

（1）一般入試

- ① 入学者の選抜は、各専攻の指定する学力検査等及び出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して行います。
- ② 試験には、指定外の物を持ち込むことはできません(21 ページ「VI 受験者心得」参照。)
- ③ 学力検査等及び試験日時

※ 面接及び口頭試問は、特に記載のない場合、卒業研究の内容や大学院に入学後の研究計画等について行います。パソコン・資料等を使用して説明することはできません。

なお、黒板等の使用は、受験者の申し出や面接担当者の指示により、試験中に許可をすることがあります。ただし、機械システム工学専攻は黒板等を使用することはできません。

理工学研究科（工学系）

【化学・バイオ工学専攻】

試験日	試験時間	試験科目等	
令和4年8月23日（火）	13:30～15:00	専門科目 （*）	化学・バイオ工学 （分野：化学工学，物理化学，無機化学， 有機化学，バイオ化学） （5分野から各1問出題，5問中3問選択）
令和4年8月24日（水）	9:00～ （1人10分程度）	面接及び口頭試問	

*試験会場で電卓を貸与します。各自が持ち込んだ電卓の使用は禁じます。

*専門科目（各分野）の出題範囲は次のとおりです。

分野名	出題範囲
化学工学	化学工学量論，移動現象論，反応工学
物理化学	化学熱力学の基礎，気体と固体並びに液体の性質と構造及び状態変化， 反応速度論
無機化学	原子の構造と元素の周期性，酸と塩基・酸化と還元，遷移金属錯体， 無機固体の基礎
有機化学	有機化合物の命名法，構造及び物性，反応機構，合成反応
バイオ化学	細胞の構造と機能，代謝とエネルギー生産，細胞間相互作用， 膜の構造と機能，生体分子の構造と機能

【情報・エレクトロニクス専攻】

試験日	試験時間	試験科目等	
令和4年8月23日（火）	10:00～11:30	基礎科目	数学 必須：「微分積分」「線形代数」 選択：「フーリエ解析・ラプラス変換」 「情報数学（集合と関係，命題論理， 整数論）」の2分野より1分野を選択
	13:30～ （1人25分程度）	面接及び口頭試問 （卒業研究等を含み，口頭試問では「電磁気学」， 「電気回路」，「計算機基礎」，「情報理論」の専門分野に関する4分野から2分野を選択）	

【機械システム工学専攻】

試験日	試験時間	試験科目等	
令和4年8月23日（火）	13：30～15：30	専門科目（＊）	機械工学 （分野：材料力学，熱力学， 流体力学，機械力学）
令和4年8月24日（水）	9：00～ （1人10分程度）	面接及び口頭試問	

＊専門科目（各分野）の出題範囲は次のとおりです。

分野名	出題範囲
材料力学	材料の基本的力学特性(弾性，塑性，破断)， 引張とせん断の変形と応力，はりの静定・不静定曲げ問題
熱力学	エネルギー保存則，状態量と状態変化
流体力学	質量・運動量・エネルギーの保存，流体の回転と渦，管内の流れ
機械力学	静力学，運動の法則，自由振動，質点系の力学，剛体の力学

【建築・デザイン・マネジメント専攻】

試験日	試験時間	試験科目等
令和4年8月23日（火）	9：00～ （1人20分程度）	面接及び口頭試問

有機材料システム研究科

【有機材料システム専攻】

試験日	試験時間	試験科目等	
令和4年8月23日（火）	13：30～	専門科目（＊1）	高分子科学（＊2）
令和4年8月24日（水）	9：00～ （1人15分程度）	面接及び口頭試問	

＊1 専門科目の出題範囲は次のとおりです。

専門科目名	出題範囲
高分子科学	高分子合成，高分子溶液，固体構造，高分子物性

＊2 専門科目の試験は，口頭試問で行います。

(2) 社会人入試

- ① 入学者の選抜は、全専攻とも面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して行います。
- ② 試験には、指定外の物を持ち込むことはできません(21 ページ「Ⅵ 受験者心得」参照。)
- ③ 面接及び口頭試問では、パソコン・資料等を使用して説明することはできません。
 なお、黒板等の使用は、受験者の申し出や面接担当者の指示により、試験中に許可をすることがあります。ただし、**機械システム工学専攻は黒板等を使用することはできません。**
- ④ 面接及び口頭試問の日時

理工学研究科 (工学系)

有機材料システム研究科

【全専攻共通】

試験日	試験時間	試験科目等
令和4年8月23日(火)	13:30～ (1人20分程度)	面接及び口頭試問(※)

※ 各専攻の面接及び口頭試問について

【化学・バイオ工学専攻】

卒業研究の内容や入学後の研究計画などに関する面接及び口頭試問を行います。

【情報・エレクトロニクス専攻】

受験者は、面接及び口頭試問時に「電磁気学」，「電気回路」，「計算機基礎」，「情報理論」の専門分野に関する4分野から1分野を選択してもらいます。その分野について面接及び口頭試問を行います。

追加周知の際は、本専攻ホームページ(<https://infoele.yz.yamagata-u.ac.jp>)に掲載するので注意してください。

【機械システム工学専攻】

これまで行った研究・技術開発等並びに入学後に考えている研究について説明してもらいます。引き続きそれらに対する質疑応答を行います。さらに、希望する研究分野を中心に機械工学に関する基礎知識について質問します。

【建築・デザイン・マネジメント専攻】

志望の動機，研究・技術業績の内容，大学院に入学後の研究計画等について、面接及び口頭試問を行います。

【有機材料システム専攻】

志望の動機，研究・技術業績の内容，大学院に入学後の研究計画等について、面接及び口頭試問を行います。

(3) 外国人留学生入試

- ① 入学者の選抜は、全専攻とも面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して行います。
- ② 試験には、指定外の物を持ち込むことはできません(21 ページ「VI 受験者心得」参照。)
- ③ 面接及び口頭試問では、パソコン・資料等を使用して説明することはできません。
 なお、黒板等の使用は、受験者の申し出や面接担当者の指示により、試験中に許可をすることがあります。ただし、**機械システム工学専攻は黒板等を使用することはできません。**
- ④ 面接及び口頭試問で利用できる言語は、日本語又は英語です。
- ⑤ 面接及び口頭試問の日時

理工学研究科(工学系)		有機材料システム研究科
【化学・バイオ工学専攻】		【機械システム工学専攻】 【有機材料システム専攻】
試験日	試験時間	試験科目等
令和4年8月24日(水)	9:00～ (1人20分程度)	面接及び口頭試問(※)

※ 各専攻の面接及び口頭試問について

【化学・バイオ工学専攻】

卒業研究の内容や入学後の研究計画などに関する面接及び口頭試問を行います。

【機械システム工学専攻】

これまで行った卒業研究・演習等並びに入学後に考えている研究について説明してもらいます。引き続きそれらに対する質疑応答を行います。さらに、希望する研究分野を中心に機械工学に関する基礎知識について質問します。

【有機材料システム専攻】

志望の動機、卒業研究の内容、大学院に入学後の研究計画等について、面接及び口頭試問を行います。

【情報・エレクトロニクス専攻】

試験日	試験時間	試験科目等
令和4年8月23日(火)	13:30～ (1人30分程度)	面接及び口頭試問 (卒業研究、又は準ずる演習等を含み、 口頭試問では「電磁気学」、「電気回路」、 「計算機基礎」、「情報理論」の専門分野に 関する4分野(英文併記有)から2分野を選択)

(注) 追加周知の際は、本専攻ホームページ(<https://infoele.yz.yamagata-u.ac.jp>)に掲載するので注意してください。

【建築・デザイン・マネジメント専攻】

試験日	試験時間	試験科目等
令和4年8月23日(火)	13:30～ (1人20分程度)	面接及び口頭試問 (志望の動機、卒業研究の内容、大学院に入学後の研究計画等について行います。)

[2] 第2回入試

(1) 社会人入試

- ① 入学者の選抜は、面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して行います。
- ② 試験には、指定外の物を持ち込むことはできません(21 ページ「Ⅵ 受験者心得」参照。)
- ③ 面接及び口頭試問では、パソコン・資料等を使用して説明することはできません。
 なお、黒板等の使用は、受験者の申し出や面接担当者の指示により、試験中に許可をすることがあります。ただし、機械システム工学専攻は黒板等を使用することはできません。
- ④ 面接及び口頭試問の日時

理工学研究科(工学系)

有機材料システム研究科

【全専攻共通】

試験日	試験時間	試験科目等
令和4年11月16日(水)	13:30～ (1人20分程度)	面接及び口頭試問(※)

※ 各専攻の面接及び口頭試問について

【化学・バイオ工学専攻】

卒業研究の内容や入学後の研究計画などに関する面接及び口頭試問を行います。

【情報・エレクトロニクス専攻】

受験者は、面接及び口頭試問時に「電磁気学」、「電気回路」、「計算機基礎」、「情報理論」の専門分野に関する4分野から1分野を選択してもらいます。その分野について面接及び口頭試問を行います。

追加周知の際は、本専攻ホームページ(<https://infoele.yz.yamagata-u.ac.jp>)に掲載するので注意してください。

【機械システム工学専攻】

これまで行った研究・技術開発等並びに入学後に考えている研究について説明してもらいます。引き続きそれらに対する質疑応答を行います。さらに、希望する研究分野を中心に機械工学に関する基礎知識について質問します。

【建築・デザイン・マネジメント専攻】

志望の動機、研究・技術業績の内容、大学院に入学後の研究計画等について、面接及び口頭試問を行います。

【有機材料システム専攻】

志望の動機、研究・技術業績の内容、大学院に入学後の研究計画等について、面接及び口頭試問を行います。

(2) 外国人留学生入試

- ① 入学者の選抜は、面接及び口頭試問並びに書類審査の結果を総合して行います。
- ② 試験には、指定外の物を持ち込むことはできません(21 ページ「VI 受験者心得」参照。)
- ③ 面接及び口頭試問では、パソコン・資料等を使用して説明することはできません。
 なお、黒板等の使用は、受験者の申し出や面接担当者の指示により、試験中に許可をすることがあります。ただし、機械システム工学専攻は黒板等を使用することはできません。
- ④ 面接及び口頭試問で使用する言語は、日本語又は英語です。
- ⑤ 面接及び口頭試問の日時

理工学研究科(工学系)

有機材料システム研究科

【化学・バイオ工学専攻】

【機械システム工学専攻】

【建築・デザイン・マネジメント専攻】

【有機材料システム専攻】

試験日	試験時間	試験科目等
令和4年11月16日(水)	13:30～ (1人20分程度)	面接及び口頭試問(※)

※ 各専攻の面接及び口頭試問について

【化学・バイオ工学専攻】

卒業研究の内容や入学後の研究計画などに関する面接及び口頭試問を行います。

【機械システム工学専攻】

これまで行った卒業研究・演習等並びに入学後に考えている研究について説明してもらいます。引き続きそれらに対する質疑応答を行います。さらに、希望する研究分野を中心に機械工学に関する基礎知識について質問します。

【建築・デザイン・マネジメント専攻】

志望の動機、卒業研究の内容、大学院に入学後の研究計画等について、面接及び口頭試問を行います。

【有機材料システム専攻】

志望の動機、卒業研究の内容、大学院に入学後の研究計画等について、面接及び口頭試問を行います。

【情報・エレクトロニクス専攻】

試験日	試験時間	試験科目等
令和4年11月16日(水)	13:30～ (1人30分程度)	面接及び口頭試問 (卒業研究、又は準ずる演習等を含み、 口頭試問では「電磁気学」、「電気回路」、 「計算機基礎」、「情報理論」の専門分野に 関する4分野(英文併記有)から2分野を選択)

(注) 追加周知の際は、本専攻ホームページ(<https://infoele.yz.yamagata-u.ac.jp>)に掲載するので注意してください。

(3) 一般入試

推薦入試と第1回入試における入学手続完了者の総数が入学定員に達しない場合は、その欠員分について、第2回入試「一般入試」において募集を行うことがあります。

第2回入試における「一般入試」の募集の有無については、山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科のホームページにてお知らせするとともに、募集を行う場合は、別に募集要項を作成し公表します。

6 試験場

山形大学工学部試験場 米沢市城南四丁目3-16

7 合格者の発表

項 目	発 表 日 時
第1回入試	令和4年9月1日(木) 11時(予定)
第2回入試	令和4年11月30日(水) 11時(予定)

山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ(<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>)に合格者の受験番号を掲載します(発表直後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいて再度アクセスしてください。)。なお、合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

項 目	入 学 手 続 期 間
第1回入試	令和4年9月13日(火)～9月20日(火)
第2回入試	令和4年12月13日(火)～12月16日(金)

受付時間は、9時から16時30分までとします(土・日曜日、祝日を除きます。)

(2) 入学料

入学手続の際に、入学料を納付していただきます。

入学料 282,000 円

(3) 提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(4) 留意事項

入学手続完了者が、令和5年3月31日(金)までに入学を辞退した場合であっても、入学料は返還しません。

VI 受験者心得

1 受験票について

(1) 試験当日は、**受験票を必ず持参**し、試験場に入場する際に提示してください。

(2) 試験場では、常に受験票を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。

(3) 試験当日、受験票を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。

(4) 受験票を紛失した場合は、速やかに山形大学工学部入試担当に申し出てください。

(5) 受験票は、**入学手続の際に必要**となりますので、可否が確定するまで大切に保管してください。

2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに米沢市に到着するなど、各自の責任において必要な対応をとってください。

3 受験者は、試験開始時刻 30 分前までに試験場に到着してください。

4 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。

5 試験開始後 20 分を経過した後は、試験室への入室を認めません。

6 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。

7 筆記試験等における留意点について

(1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆(シャープペンシルも可。)、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。)、直線定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけを取り出したもの。)、目薬です。

(2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。

- (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
- 8 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。
- 9 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。
- 10 試験が午後にわたる場合に備えて、受験者は昼食を持参しても構いません。
- 11 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 12 試験当日は、受験者以外は試験場建物内に立ち入ることができません。
- 13 受験のための宿泊施設については、本学ではあつせんしません。
- 14 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じて本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

VII 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する方で、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する方は、入学願書の出願受付開始 2 ～ 3 週間前までに山形大学工学部入試担当（電話(0238)26-3013）に相談してください。

なお、相談内容によっては、本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早めにご相談ください。

VIII 授業料

入学後に納付していただきます。

授業料 年額 535,800 円（予定額）

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。
- 2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- 3 納付方法等詳細については、入学案内を送付する際にお知らせします。

IX その他

- 1 提出いただいた入学試験に関する個人情報は次の目的のために利用します。なお、この目的以外に当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。
- (1) 入学者選抜試験実施のため
- (2) 入学手続業務のため
- (3) 入試統計調査のため
- (4) 就学上必要な本学での業務のため
- (5) その他大学として必要な業務のため
- 2 提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 3 安全保障輸出管理について
- 山形大学では、「外国為替及び外国貿易法」等に基づき、「国立大学法人山形大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供、貨物の輸出の管理を行っています。その管理のため、外国の政府・法人等から強い影響を受ける状態（特定類型）の該当性に関する申告書を提出していただく場合があります。
- 規定事項に該当する場合は、大学から経済産業省への許可申請が必要になる可能性があり、その結果、技術提供がすぐに実施されない場合があります。また、経済産業省への申請について、国際平和・安全の維持の観点から不許可となった場合、結果的に大学からの技術提供が行われない場合があります。

X 出願書類の請求について

1 直接来学する場合

山形大学工学部入試担当の窓口で配付します。

(土・日曜日、祝日、8月12日～8月16日及び9月22日を除きます。)

2 郵便による請求方法

＜請求先＞ 山形大学工学部入試担当

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

(1) 山形大学工学部入試担当宛ての封筒の表に、

①「大学院理工学研究科博士前期課程(工学系・4月入学)出願書類請求」又は「大学院有機材料システム研究科博士前期課程(4月入学)出願書類請求」

②希望冊数について「○冊希望」

以上2点について、朱書きしてください。

(2) 封筒の裏には、請求する方の郵便番号・住所・氏名・電話番号を必ず記入してください。

(3) 返信用封筒(角形2号・33.2cm×24.0cm)を同封してください。封筒の表には請求する方の郵便番号・住所・氏名を必ず記入してください。

(4) 郵送料は140円(速達で返信を希望する場合は400円)です。返信用の封筒に郵送料分の切手をはってください。

※上記料金は一度に2冊まで郵送する場合のものです。3冊以上を希望する場合は、別途ご連絡ください。

山形大学工学部入試担当 電話 (0238)26-3013

受付時間は9時から16時30分までとします。

XI 教育方法の特例措置について

近年の科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人研究者、教育者及び技術者の再教育への要請が高まっています。しかし、社会人の多くは、修学期間あるいは地理的制約から通常の方法では再教育の機会を十分に利用できないのが実情です。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定され、社会人研究者、教育者及び技術者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

本研究科でも、社会人受入れに当たり、教育上特に必要と認められる場合には、教育方法の特例措置を実施しております。

教育方法の特例措置は次のとおりです。

1 通常の時間帯(8:50～16:10)以外に、特例措置の時間帯(16:20～21:10)に履修できるものです。

2 土曜・日曜日にも履修できるものです。

3 必要に応じて夏季・冬季休業期間中にも履修できるものです。

4 特例の時間帯による履修を希望する者は、当該年度当初に、指導教員の承認を得た上、適用授業科目名、時限、時期等を出願し、授業担当教員の許可を得るものとします。

XII 長期履修学生制度について

職業を有している等の事情によっては、本研究科の標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程修了することができる制度です。この制度の利用や授業料の納入方法等の詳細については、山形大学工学部教育支援担当(電話(0238)26-3015)に照会してください。

XIII 教育訓練給付制度について

理工学研究科「建築・デザイン・マネジメント専攻」では社会人のビジネススキルアップを目的として、企業や自治体等で活躍している社会人に、マネジメント教育を実施しています。

同専攻は「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定教育訓練講座」の指定を受けており、修了後本人がハローワーク（公共職業安定所）へ申請することで、雇用保険の被保険者期間（原則3年以上）により、最大10万円の教育訓練給付金が支給されます。

制度の詳細については、山形大学工学部教育支援担当（電話（0238）26-3015）へ照会してください。

教育訓練給付制度とは

働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。

一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）又は一般被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、本人自らが教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定割合に相当する額（上限あり）がハローワーク（公共職業安定所）から支給されます。

XIV 研究科の概要

理工学研究科（工学系）

1 研究科の組織

本研究科は、前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程、後期3年の課程を博士課程として取扱います。

理 工 学 研 究 科 博 士 前 期 課 程 (工 学 系)	化学・バイオ工学専攻
	情報・エレクトロニクス専攻
	機械システム工学専攻
	建築・デザイン・マネジメント専攻

理 工 学 研 究 科 博 士 後 期 課 程 (工 学 系)	物質化学工学専攻
	バイオ工学専攻
	電子情報工学専攻
	機械システム工学専攻
	ものづくり技術経営学専攻

2 博士前期課程担当教員等

詳細については、山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ（<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>）「大学院受験生の方」の以下のページをご覧ください。

○理工学研究科 博士前期課程担当教員表

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/ex-graduate/>

○博士前期課程シラバス

<https://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2022km/top.htm>

有機材料システム研究科

1 研究科の組織

本研究科は、前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程、後期3年の課程を博士課程として取扱います。

有機材料システム研究科 博 士 前 期 課 程	有機材料システム専攻
----------------------------	------------

有機材料システム研究科 博 士 後 期 課 程	有機材料システム専攻
----------------------------	------------

2 博士前期課程担当教員等

詳細については、山形大学工学部／大学院・理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ（<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp>）「大学院受験生の方」の以下のページをご覧ください。

○有機材料システム研究科 博士前期課程担当教員表

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/ex-graduate/>

○博士前期課程シラバス

<https://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2022km/top.htm>

入学検定料支払方法

コンビニ端末でお申込みの場合(インターネット不要)

クレジットカードでお申込みの場合

1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON MINISTOP
Loppi Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニ、
FamilyMart

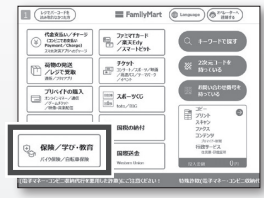
Famiポート マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」または「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「申込・保険・請求・募金(7)」または「保険/学び・教育」よりお申込みください。



申込・保険・請求・募金(7) または「保険/学び・教育」

学び・教育

各種(入学検定料等)お支払いサービス

山形大学大学院

をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券」を発券してください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、Famiポートまたはマルチコピー機)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

② お支払い後チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

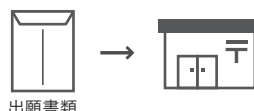
「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。

(ファミリーマート)

② お支払い後レシート(受領書)をお受け取りください。

お支払いが完了しましたら、入試要項などの指示に従って出願書類を郵送してください。

コンビニで受け取った「取扱明細書」「取扱明細書兼領収書」または「受領書(レシート)」等は出願が完了するまで大切に手元に控えておいてください。



出願書類

<パソコン・スマートフォン>

*出願期間最終日のインターネットからのお申込みは日本時間の16時30分までとなります。余裕を持ってご利用ください。
*PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要となります。

本学「入学検定料支払い」ページにアクセス



<https://e-apply.jp/n/yamagata-gs-c>



から
画面の指示に従って出願する入試を選んだ後、基本情報を入力。

入力内容が表示されます。間違いがなければ、次のページで表示される「受付番号(12桁)」を必ず控え、お支払い画面に進んでください。

*カード決済完了後の修正・取消はできません。申込を確定する前に、内容をよくご確認ください。

クレジットカードでお支払い



●お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。但し、前段の画面で入力する基本情報は、必ず受験生本人のものを入力してください。

お支払い後に上記URLまたは支払い完了メールに記載されたURLへアクセス(※1)し、

収納証明書の印刷 から
PDFファイルをダウンロードの上、印刷してください。

※1: お申込の際に発行された「受付番号(12桁)」が必要です。

上記URLからアクセス

*PDFファイルを印刷するためのプリンターが必要となります。

3 出願

入学資格審査願

●＜志願する研究科を○で囲んでください＞

令和5年度山形大学大学院

理 工 学 研 究 科
有機材料システム研究科

 博士前期課程（令和5年4月入学）に出願したいので、同資格の審査をお願いします。

令和 年 月 日

氏名（署名） ※

住所・電話番号等

〒			
電 話 ()	—		
携帯電話 —	—		
E-mail			

志願専攻名

	専攻
--	----

最終卒業学校名

--

卒業（修了）年月日

	年	月	日	卒業（修了）
--	---	---	---	--------

現職等（所属機関・部署・職名等）

--

※ 外国人留学生入試志願者は、漢字もしくはローマ字とし、姓(Last(Family)name)、名(First(Given)name)、ミドルネーム等の順で記入してください。

受験 番号	*
----------	---

令和5年度
山形大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）
山形大学大学院有機材料システム研究科博士前期課程
（令和5年4月入学）

入学試験出願資格認定審査調書

ふりがな		現職	
氏名		現住所	
生年月日（年齢）	昭和 平成 年 月 日（満 歳）		
志願専攻名	専攻	希望指導教員名	
学歴（高等学校卒業時から記入してください。）			
年 月 日	事 項		
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
職歴			
年 月 日	事 項		
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
過去の職務内容と今後の研究内容			

[注] 外国人留学生入試の入学審査を受ける者は、別紙「入学試験出願資格認定審査調書（外国人留学生入試用）」を使用してください。
* 印の欄は記入しないでください。

山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科

受験 番号	*
----------	---

令和5年度
山形大学大学院理工学研究科博士前期課程（工学系）
山形大学大学院有機材料システム研究科博士前期課程
（令和5年4月入学）

入学試験出願資格認定審査調書（外国人留学生入試用）

ふりがな		現職		
氏名 漢字若しくは ローマ字で記入				
生年月日（年齢）	年 月 日（満 歳）	現住所		
志願専攻名	専攻	希望指導教員名		
学歴（小学校入学時から記入してください。）				
在籍期間		年数	事項	
年 月 日～ 年 月 日		年 月		
年 月 日～ 年 月 日		年 月		
年 月 日～ 年 月 日		年 月		
年 月 日～ 年 月 日		年 月		
年 月 日～ 年 月 日		年 月		
年 月 日～ 年 月 日		年 月		
年 月 日～ 年 月 日		年 月		
年 月 日～ 年 月 日		年 月		
年 月 日～ 年 月 日		年 月		
通 算		年 月		
職歴				
年 月 日		事項		
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
過去の職務内容と今後の研究計画				